

4. 業績の見通し

当期の業績につきましては、至近の動向を踏まえ、平成23年4月28日に公表した業績予想を修正いたしました。

当社は、原子力安全・保安院より「発電用原子炉施設の安全性に関する総合的評価」の実施について指示を受け、今後的確に対応してまいります。これに伴い、当社の業績に大きな影響を及ぼす泊発電所1・2号機の定期検査における発電再開につきまして、その時期を見通すことができない状況にあります。このため、本州方面への今後の融通電力量や火力発電所の燃料焼き増しについて見通すことが困難であり、収入・費用を合理的に予想することができません。

以上の理由から、平成24年3月期の業績予想につきましては、連結、単独ともに第2四半期（累計）および通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を未定といたしました。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

なお、本州方面への電力融通につきましては、引き続き可能な限りの支援を行ってまいります。

販売電力量につきましては、東日本大震災の影響による落ち込みは見られますが、産業用の一部では生産増の動きもあり、今後の推移を見極める必要があることから、前回業績予想326億kWh程度（対前期増減率0.8%程度）を据え置いております。

配当につきましては、当社は安定配当の維持を基本としております。今回、業績予想は未定といたしますが、その要因は一過性のものと考えており、平成23年4月28日に公表しました当期の配当予想に変更はありません。

（参考）泊発電所1号機は、4月22日から定期検査中であり、泊発電所2号機は、8月下旬から定期検査を開始する予定です。